

関連イベント

【連続レクチャー】

「“レトロ・モダン 神戸”を語る」(全3回)

● 第1回 5月2日(日)

「戦前のアマチュア映像作家の仕事振り返る」

講師:森下 明彦 氏(映像研究家)

● 第2回 5月9日(日)

「変貌する都市風景1930's~50's—昭和期神戸の光と影」

講師:梅宮 弘光 氏(建築史家・神戸大学大学院准教授)

● 第3回 5月23日(日)

「懐かしの絵葉書〜モダン神戸の原像」

講師:石戸 信也 氏(絵葉書研究家)

いずれの回も開始時刻は14:00~(約90分)

会場:レクチャールーム(定員100名)

参加無料(ただし展覧会チケットの半券が必要です。)

【学芸員による解説会】

● 4月24日(土)、「美術館の日」開催日、
5月8日(土)、5月22日(土)

いずれも開始時刻は17:00~(約30分)

会場:レクチャールーム(定員100名)

参加無料

【ミュージアム・ボランティアによる解説会】

● 会期中の毎週日曜日 11:00~(約15分)

会場:レクチャールーム(定員100名)

参加無料

【こどものイベント】(詳しくは最終ページをご覧ください)

● 5月15日(土) 10:30~15:30

「写真の秘密にせまろう」

お問い合わせ:078-262-0908(こどものイベント係まで)



私は
美しいものが
好きだ。

Nakayama Iwata
Retrospective

写真家 中山岩太
レトロ・モダン
神戸

《長い髪の子》1933年

兵庫県ゆかりの写真家、中山岩太(1895-1949)は、1920年代のニューヨークとパリで実際に写真撮影を生業とし、また当地の美術運動にじかに接してきました。その後帰国し、神戸と芦屋でさまざまな作品を世に送り出し、日本を代表する写真家となりました。本展ではそうした中山の業績を、モダンプリントとヴィンテージプリントの両方を展示する第1部と、戦前の神戸をさまざまに紹介する第2部とで振り返ります。

2010年
2010.4.17(土) - 5.30(日)



《神戸風景(トンプソン商会)》1939年頃



《緑の服の女》 1930年 ボンビドゥーセンター蔵
c. 2010 Tamara Art Heritage Licenced by MMI
photo Collection Centre Pompidou, Dist. RMN / Droits réservés / distributed by DNPpartcom / ADAGP & SPDA

美しき挑発 本能に生きた伝説の画家 レンピッカ展

2010 5/18(TUE) ~ 7/25(SUN)

写真家 中山岩太「私は美しいものが好きだ。」

一般1,200(1,000)円・大学生900(700)円・高校生600(500)円・65歳以上600円・中学生以下無料
()内は前売りおよび20名様以上の団体料金※65歳以上は前売りはございません

美しき挑発 レンピッカ展

一般1,300(1,100)円・大学生900(700)円・高校生650(500)円・65歳以上650円・中学生以下無料
()内は前売りおよび20名様以上の団体料金※高校生・65歳以上は前売りはございません